

(参考様式)

大戸集落 人・農地プラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(2回目)
館山市	大戸集落(豊房地区)	平成25年2月		

1. 今後の地域の中心となる経営体

経営体 (氏名)	経営者・代表 者の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有無	戸別所得補償 制度の加入者	現状 〔平成24年度〕 (大戸集落内)		計画 〔平成29年度〕 (大戸集落内)		新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取組 年度	活用が見込まれる施策				備考	
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			規模拡 大加算	青年就 業給付 金(開 始型)	スー パー 資金の 金利負 担軽減 措置	耕作放 棄地再 生利用 緊急対 策交付 金	経営体の全体 規模(現状:24 年度)※大戸 以外の農地含 む	経営体の全体 規模(計画:29 年度)※大戸 以外の農地含 む
A氏	才	2 (0) 名	不明	○	いちご	0.24 (いちご 0.23) (野菜 0.01) ha	いちご+いちじく +野菜	0.56 (いちご 0.23) (いちじく 0.10) (野菜 0.23) ha	6次産業化・ 高付加価値化	H25	○				いちご: 0.23ha 野菜: 0.01ha	いちご: 0.23ha いちじく: 0.10ha 野菜: 0.23ha
B氏	才	1 (0) 名	無		水稲+野菜+い ちじく	0.44 (水稲 0.20) (野菜 0.13) (いちじく 0.11) ha	水稲+野菜+い ちじく	0.89 (水稲 0.65) (野菜 0.13) (いちじく 0.11) ha	6次産業化・ 高付加価値化	H25					水稲: 0.25ha 野菜: 0.13ha いちじく: 0.11ha	水稲: 0.71ha 野菜: 0.13ha いちじく: 0.11ha
C氏	才	3 (6) 名	不明	○	いちご+水稲+ 野菜	1.32 (いちご 0.76) (水稲 0.49) (野菜 0.07) ha	いちご+水稲+野 菜	2.22 (いちご 0.76) (水稲 1.38) (野菜 0.08) ha	6次産業化・ 高付加価値化	H25	○				いちご: 0.76ha 水稲: 0.58ha 野菜: 0.07ha	いちご: 0.76ha 水稲: 1.47ha 野菜: 0.07ha
D氏	才	2 (0) 名	無		水稲+野菜	0.25 (水稲 0.21) (野菜 0.04) ha	水稲+野菜	0.33 (水稲 0.30) (野菜 0.03) ha	高付加価値化	H25					水稲: 0.47ha 野菜: 0.03ha 果樹: 0.05ha	水稲: 0.56ha 野菜: 0.03ha 果樹: 0.05ha
大戸集落営農組合 (B氏) 認:A氏 認:C氏	才	4 (0) 名			-----	0.00 ha	水稲+野菜	0.95 (水稲 0.72) (野菜 0.13) (果樹 0.10) ha	集落営農	H25					-----	水稲: 0.72ha 野菜: 0.13ha 果樹: 0.10ha
E氏	才	2 (0) 名	不明		-----	0.00 ha	野菜	0.18 (野菜 0.18) ha	新規就農	H25		○	○		野菜: 0.51ha	野菜: 0.69ha
F氏	才	1 (0) 名	不明		-----	0.00 ha	いちご+野菜	0.16 (いちご 0.10) (野菜 0.06) ha	新規就農	H26		○	○		-----	いちご: 0.17ha 野菜: 0.30ha

【 記載上の注意 】

※ 「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農畜産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化など地域農業の発展を牽引する経営体や将来こうした役割を担うであろう新規就農者等を記載します。また、認定農業者、大規模経営体、農業法人及び広域で営農する農業者がいれば、それらの経営体の意向を確認したうえで、地域の中心となる経営体として位置づけます。

※ 「経営体(氏名)」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、下段括弧書きで組織経営体の代表者名を記載します。集落営農の構成員である認定農業者については、その全ての認定農業者の「認:氏名」を記載します。

※ 「新規就農・6次産業化・・・等の取組」には、経営発展のために今後取り組もうとする内容に合致する取組を選択し記載します。

※ 「備考」には、活用する県単独事業などの施策の内容、経営発展に向けて取り組む内容で特筆すべき事項があれば記載します。

2. 地域の中心となる経営体以外の農業者

(1) 農地の提供等により地域の中心となる経営体と連携する農業者

農地の提供等により連携する農業者 (氏名)	年齢	戸別所得補償制度の加入者	現状 〔平成24年度〕		計画 〔平成29年度〕		活用が見込まれる施策			備考 (今後の役割等)
			経営内容 (作目)	経営規模の合計 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模の合計 (ha、頭数等)	経営転換協力金	分散結団解消協力金	その他	
G氏	才		水稻＋保全管理	0.61 ha	水稻＋保全管理	0.43 ha				水稻は自作を維持するが、一部農地を中心経営体に集積。保全管理により集落環境の維持。
H氏	才		水稻	0.08 ha	---	0.00 ha				水田を中心経営体に集積
I氏	才		水稻＋野菜＋保全管理	0.45 ha	保全管理	0.11 ha				農地を中心経営体に集積。保全管理により集落環境の維持。
J氏	才		水稻＋野菜＋保全管理	0.65 ha	保全管理	0.21 ha				農地を中心経営体に集積。保全管理により集落環境の維持。
K氏	才		水稻＋野菜	0.22 ha	水稻＋野菜	0.11 ha				水稻は自作を維持するが、一部農地を中心経営体に集積。
L氏	才		水稻＋野菜＋保全管理	0.41 ha	保全管理	0.01 ha	○			農地を中心経営体に集積。保全管理により集落環境の維持。
M氏	才		水稻＋野菜	0.85 ha	---	0.00 ha	○			農地を中心経営体に集積。
N氏	才		水稻＋野菜	0.33 ha	水稻	0.26 ha				水稻は自作を維持するが、一部農地を中心経営体に集積。
O氏	才		水稻＋野菜	0.41 ha	水稻	0.35 ha				水稻は自作を維持するが、一部農地を中心経営体に集積。
P氏	才		水稻＋保全管理	0.76 ha	水稻＋保全管理	0.63 ha				水稻は自作を維持するが、一部農地を中心経営体に集積。保全管理により集落環境の維持。

(2) その他の農業者の状況

経営内容(作目)ごとの経営体数	経営規模の合計 (ha、頭数等)	現状と今後の見込み	備考
水稻＋野菜 8 経営体	4.1 ha	高齢化と農業機械の老朽化に伴い、今後は、中心経営体へ農地の集積を図っていくこととする。	

3. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者のあり方)		
取組事項	対応	コメント
複 合 化		■新規就農者の育成・確保 新規就農者を確保し、農地を集積する。将来の担い手として育成。地域おこし協力隊事業との連携。
6 次 産 業 化	○	■集落営農組織の結成 農作業を引き受ける営農組織を結成。高齢などにより、営農継続が困難な農家の農作業(主として水田農作業)を受託(または貸借)する。
高 付 加 価 値 化	○	■グリーンツーリズム(体験農業事業)の推進 大戸集落で活動を展開する「農業で元気な豊房をめざす会」を中心として、新規就農者や集落営農組織と連携することで、今、求められている多様なニーズに対応。集落ぐるみで取り組むことで、副収入の場、生きがい、やりがいのある農村集落を形成する。
新 規 就 農 の 促 進	○	■高収益型作物への転換 水稻作など土地利用型作物から小規模な農地でも収益性の高い作物への転換
そ の 他 []		

別紙：地域の中心となる経営体に対する農地の集積計画表(工程表)

地域の中心となる経営体の経営農地				左記の経営体に対して29年度までに貸付等が予定されている農地						
経営体 (氏名)	耕地番号	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	耕地番号	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m ²)			貸付等の 予定年度
							貸付	作業委託	売渡	
A氏		田	大戸一町田513		畑	大戸本館8		208		H25
		田	大戸一町田514		畑	大戸本館24-2		241		H25
		畑	大戸一町田516		畑	大戸本館44		565		H25
					畑	大戸本館493		1,023		H25
					畑	大戸本館495		1,051		H25
					畑	大戸本館496		47		H25
B氏		畑	大戸木ノ下237		田	大戸一町田510		3,215		H25
		畑	大戸木ノ下239		田	大戸一町田537		1,362		H25
		田	大戸一町田511							
C氏		畑	大戸本館6-2		畑	大戸本館13-1		128		H25
		畑	大戸本館14		田	大戸本館498		3,056		H25
		田	大戸本館17-1		田	大戸築地508		3,666		H25
		田	大戸作71-1		田	大戸一町田512		2,194		H25
		田	大戸作72-1							
		田	大戸作73-2							
		田	大戸作74-6							
		田	大戸本館489							
		田	大戸本館499-1							
		田	大戸本館499-2							
		田	大戸本館499-3							
		田	大戸中坪547							
D氏		田	大戸大戸台118		田	大戸駒込563		886		H25
		田	大戸中坪145-1							
		田	大戸中坪548							
大戸集落営農組合					田	大戸島間99-3		290		H25
					田	大戸島間100		201		H25
					畑	大戸大戸台121		224		H25
					畑	大戸大戸台124-2		198		H25

地域の中心となる経営体の経営農地				左記の経営体に対して29年度までに貸付等が予定されている農地						
					畑	大戸南台148-4		366		H25
					畑	大戸白幡205-1		128		H25
					畑	大戸白幡206-1		186		H25
					畑	大戸白幡208-1		595		H25
					畑	大戸白幡221-1		190		H25
					田	大戸本館490		2,002		H25
					田	大戸築地505		1,832		H25
					田	大戸一町田523		1,647		H25
					田	大戸中坪546		1,691		H25
E氏					田	大戸中坪142	1,404			H25
					田	大戸中坪143-1	479			H25
F氏					田	大戸築地509	1,600			H26

(上記以外の農地の情報) [可能な範囲で記載してください]

耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	面積 (㎡)	農地の 状態	将来的な農地利用計画

【 記載上の注意 】

※ 「地域の中心となる経営体の経営農地」の欄は、必ず記載します。

※ 地域の中心となる経営体に対して農地を集積する場合は、「左記の経営体に対して28年度までに貸付等が予定されている農地」の欄に記載します。

※ 農地の集積計画が円滑に取り組まれるよう、本計画表の内容について、次ページの農地利用図に記載します。